

施工方法／下地が土の場合

① 整地・防草シートの敷設

雑草・天然芝の除去



●雑草や石等の雑物を取り除きます。草の根が残っていると生えてきてしまうため、土を掘り起こし、丁寧に草の根を取り除きます。

プレート転圧 or ローラー転圧

●下地を平坦にならし、不陸調整を行います。

碎石散布・転圧



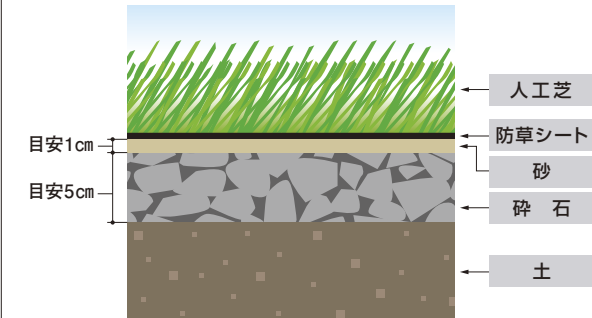
●碎石を敷設、転圧し、丁寧に不陸調整を行います。碎石は排水を良くする効果があります。
●砂を敷設し、丁寧に不陸調整を行います。
●マス部分は人工芝から出っ張ると障害物となり、つまずきげがにつながるので、事前にマスの高さギリギリまで砂を入れます。

防草シート



●人工芝の透水穴から雑草が生えないよう、防草シートを敷きます。仮敷きした後、端部分、ジョイント部分をピンで固定します。
【ポイント】
●U字ピンは防草シートがめくれない程度の打ち込みでよいです。
●防草シートのジョイント部分は5cm程重ね合わせます。

●推奨下地断面図

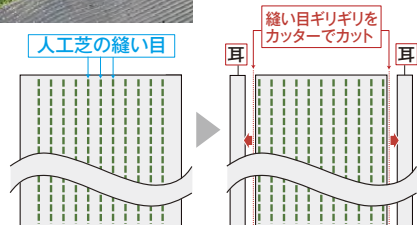


② 耳カット・仮敷き・位置合わせ・固定・カット

耳カット

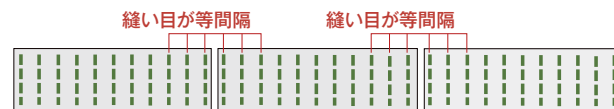


人工芝を開封し、人工芝の両サイドの基布の余り分(耳)を裏地からカットします。



仮敷き・位置合わせ

●人工芝を事前に決めた割付通りに仮敷きします。その際、下記のようにジョイント(継ぎ目)部の縫い目を調整します。



●耳カットをしているので、一定間隔の隙間を空けて敷けば、均一に縫い目間隔を揃えることができます。
●芝の向きがあるので、同じ方向へ貼ります。
●位置が決定したら、人工芝に重いものを載せ、ずらさないようにします。
●柱や壁など、敷き込む途中で障害物があるとカットが必要になるので、その場合は人工芝のカットを先に行ってから敷き込みます。

人工芝の固定



●仮敷きの位置で問題なければ、今後の工程で人工芝がずれないように端部分を壁の根に落とし込んだり、外周をU字ピンを使用し、固定していきます。

【ポイント】
●U字ピンの打ち込み間隔は約40cm～50cm。
●芝を巻き込まないように芝を掻き出してピン打ちをします。

カット



●アール部分や支柱・マス部分のカットをします。カットした部分は随時固定していきます。

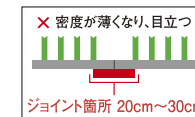
【ポイント】
●人工芝を表面からカットすると、芝部分もカットされてしまうので、カットの際はできるだけ裏返し、裏面をカットします。

③ ジョイント

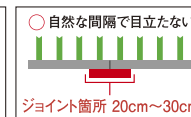
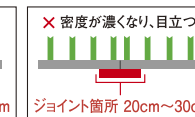
養生



●人工芝の施工で重要な工程となるジョイント部分の貼り合わせを行います。



接着剤塗布



①両側の人工芝をめくります。
②両方の端部分の芝に養生テープを貼ります。この時、接着面(裏面)まで養生テープを貼らないように注意します。
※養生テープを貼ることにより、貼り合わせの際に芝が巻き込まれることを防ぎます。
さらに、接着剤がはみ出て芝に付着することを防ぎます。
③防草シートに専用接着剤を約20cm～30cm幅でムラがないように「くし目こて」を使用し、塗布します。防草シートを敷いていない場合は接着剤の下地に専用のジョイントシートを使用します。

貼り合わせ



転圧



季節(気温)	待ち時間	貼り付け可能時間
夏(25～35℃)	5～10分	30～40分
春秋(15～25℃)	10～20分	40～60分
冬(5～15℃)	10～30分	40～60分

【接着剤の塗布基準】

●塗布量: 700～750g/m²
●塗布時間: 塗布後、上表を参考に待ち時間を取り、貼り付け可能時間内に人工芝を貼り合わせてください。
※雨の日は接着効果が薄れるため、接着作業は行わないでください。
④人工芝の貼り合わせが完了したらローラー等で転圧します。この時貼り付け可能時間内に施工を行ってください。
⑤転圧後、養生テープを慎重に撤去します。
⑥養生テープの撤去後、ジョイント箇所を跨ぐように約40～50cm間隔にてU字ピンで固定します。

④ 仕上げ

仕上げ・最終チェック



●最終チェックを行う。

人工芝にはロールの癖が付いており、開封後は芝が寝ていることが多いので、ブラッシングマシン・熊手等で芝を起こします。
ほうきや掃除機を使用し、人工芝表面に落ちている芝(カットによって多く出る)を掃除します。
搬出作業を行い、施工完了です。

最終
チェック
項目

- 隙間なく人工芝が敷設されているか。
- 「シワ」「よれ」「ずれ」「へこみ」はないか。
- 固定ピンは奥まで刺さっているか。
- ジョイント部分はしっかり接着されているか。

施工方法／下地が土以外の場合(ベランダや屋上などのコンクリート面)

① 下地処理

●床の掃除を入念に行います。小さな砂や埃が接着を妨げる恐れがあるので、注意します。

② ショックパッド

●仮敷きを行い、先に敷設面積に合わせてカットします。
●接着剤を700～750g/m²使用し、全面接着を行います。

③ 仮敷き・カット・位置合わせ

●下地が土の場合と同様に耳カット・仮敷き・カット作業を行います。

④ 人工芝の固定

●接着剤を700～750g/m²使用し、全面接着を行います。



⑤ ジョイント

●下地が土の場合と同様にジョイントを行います。

⑥ 仕上げ

●下地が土の場合と同様に仕上げを行います。

【両面テープで仮設する場合の注意点】

ベランダや屋上などのコンクリート面に敷設される場合、接着剤による施工を推奨しておりますが、接着剤が使用できない設置場所には仮設用として両面テープをご使用いただけます。しかし、温度変化により本製品の寸法変化が起きるため、当初の固定位置からずれが生じたり、ジョイント部分が開いてしまう恐れがございます。